

呉通信



月刊 No423

2024年12月20日

KURE BUSINESS NETWORK NEWS

発行:(一社)広島県中小企業家同友会 呉支部
呉市中通 4-4-7 笹兵衛ビル 101
TEL0823-23-9711 FAX0823-23-9141
<https://www.hiroshima.doyu.jp>
編集責任者:広報委員長 白井 健人



2024年11月29日地域内連携推進&環境経営委員会合同「企業見学」(ユダ木工(株))より 働くを「ワクワク」にするSDGsの取組み

令和6年度 呉支部方針 《スローガン》

Human First! 新時代へ挑戦~人を生かす経営の総合実践で、企業づくり・未来づくり

🔗 呉支部会員数 **428名** (2024年11月27日現在)
取材先募集中! ご希望の方は広報委員か事務局まで。

《 TOPICS 》

地区会の報告	2~5
部会の報告	5
委員会の報告	6~7
新会員紹介記事	8

《呉南地区会》

ビジネスのステージを一段上げる

■開催日 11月15日(金)
 ■会場 トウモロビル
 ■出席者 18名

11月の呉南例会は一八(イチハチ)接骨院の平本達也さんに「ビジネスのステージを一段上げる」と言うテーマで体験報告をしていただきました。

平本さんは今年で38歳。呉市の吉浦駅前で接骨院を開業され9年目になります。

学生時代のバイトで仕事の楽しさに魅了され、造園業の仕事をサポートされました。しかし、過酷な労働環境のもと、腰痛を発症。治療院に通う過程で、将来を見据えて柔道整復師を目指すことになりました。

無事柔道整復師の国家試験をクリアし、数年病院等で修行したのち、自分の理想の治療院を目指し、一か八かで開業。その時の思いを忘れないうために屋号には「イチハチ」と名付けたそうです。

数年前には従業員を雇用し、多店舗展開に挑戦しますが失敗。今期は学んだことを活かして、美容院併設型の接骨院を開業されています。

自分に置き換えてみますと、私は石橋を叩きすぎて、なかなか行動にうつせていないと反省しました。経営者としてのステージが上がるように、学び・変わり・挑戦し続ける必要があるな、と平本さんから学ばせていただいた体験報告例会となりました。



例会の様子

(記 株式会社西日本電工社)

糸谷 亮作

《呉中央地区会》

中小企業は

アピールが下手?!

■開催日 11月18日(月)
 ■会場 同友会呉事務所
 ■出席者 11名

11月例会は中小企業診断士の宮坂夕貴氏を講師として迎えての講師例会を開催しました。

「ホワイトペーパーとは？」と内容で話を進めていましたが、そもそもホワイトペーパーを作成するにあたり、中小企業はアピールがヘタなのは、自己分析ができていないことでもあるので、自社の強みを考えるようなワークもあり貴重な講演となりました。

中小企業は人材不足や賃金上昇、顧客ニーズの多様化など厳しい状況です。さらに国内外の競争激化の中で、自社の強みを明確にして、顧客にアピールする必要性が増しており、アピール不足の会社には厳しくなっています。

またアピールをすることで、「競争力を高める」「信頼と共感を得る」「持続的な成長に必要」などの利点が多くあげられます。

そこで自分の強みを考えるために「他人が見た自社の魅力発掘ゲーム」を行いました。①自社の強みを3つ挙げる ②グループディスカッション ③発表の流れでした。私は「①の自社の強みを3つ」でいきなりつまずいて時間がなくなってしまうました。自分で自社の強みを上げるのが見つかからないという大失態!!

これではいい方向に行く訳もないと再認識させられました。

ホワイトペーパーはもともとB to Bの取引に利用されていましたが、最近ではB to Cの取引にも有効な使い方となっています。

これを機会に作成してみようと思いましたが、まずは自分の現状分析から行っていくかなといけないう現実を感じました。

今回の講演に至った経緯は、地区会メンバーが広島銀行で保証協会の紹介で経営診断をされたことがきっかけでした。その話を聞き、私も広島銀行の担当者にお問い合わせして経営診断をしていただくこととなりました。ご興味がある方は広島銀行の担当者に聞いてみてください。



例会の様子

(株)中谷建設工業 中谷 和紀

《広東地区会》

例会準備過程の

貴重な学び

- 開催日 11月13日(水)
- 会場 オークアリーナ
- 出席者 7名

広東地区会では、11月例会は、会員の経営を語る会(11/13)と青年部例会(11/20 参加者13名)への参加という2本立てとなりました。

ここでは、経営を語る会のご紹介をします。

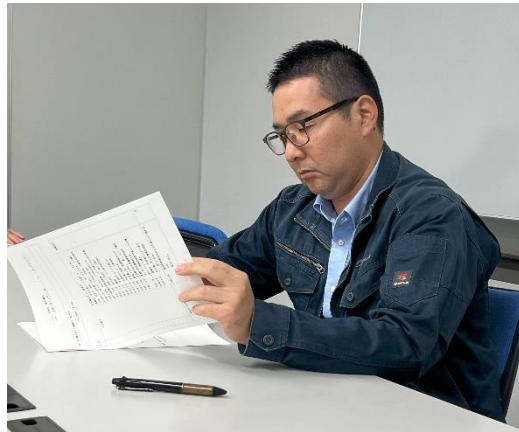
広東地区会では、例会作りに際し、「経営を語る会」を実施します。

今回は、2月例会での報告を予定している、司法書士あさひ事務所、代表 旭浩平氏に、ご自身の事や社業についてお話し頂きました。

前々職の営業マン時代から、一念発起の司法書士資格取得、災害復興に関わる女川町役場への出向を経て、地元呉市で独立開業された旭さんの、これまでの経験や土業を志した想いを報告に盛り込むよう、鋭意準備中です。

この語る会では、参加者から色々な質問がなされ、例会に向けて良い時間となりました。

こうした報告づくりの時間は例会とは違った学びがあります。人と



司法書士あさひ事務所 旭 浩平氏

(記 東部飲料株 白井 健人)

なりも良く見えますし、小さな疑問もその場で聞くことができます。個人的な悩みと近しい事があれば、こちらもアドバイスを貰うことが出来ます。こうした例会以外の活動も同友会の魅力の一つと思います。ぜひ皆様も声が掛かるようなことがあれば、参加してみてください。

《広西地区会》

底辺だと思う

職業ランキング1位？

- 開催日 11月15日(金)
- 会場 ビューポートくれ
- 出席者 11名

広西地区会11月例会は、報告者に(株)新川 取締役専務の新川 隼人氏をお迎えし、「底辺からの脱却」底辺と呼ばれる職業から街を支える職業へ」と題して経営体験報告をしていただきました。

新川氏は今年青年部会を卒業後、現在芸南地区の副地区会長として活躍しております。

家業である土木・建設業を令和元年を機に世代交代し、底辺だと思えるランキング1位に挙がるイメージを払拭するため、地元の安芸津で自社の経営の立て直しと地域の発展にも寄与しようとしています。

新川氏は「会社・社員・地域を共に成長させる会社」という理想を掲げ、新規事業を立ち上げました。助成金や副業人材を活用し、安芸津内で協賛金提供企業を募り、地域活性化に向けたマネジメントに熱意を注いでいます。

グループ討論では「業界で生き残

るために取り組んでいることはありますか？」というテーマのもと、同業他社に負けない工夫をしているかどうかを切り口に討論が行われました。

地域とのつながりや協力会社との関係を大切にし、自らの情報を積極的に発信することが重要だとされました。

新川氏のように、相談できる仲間や地域の未来を共に考える味方とともに、輪を広げていけば、底辺と思われがちな職業から地域を支える職業へと変わり、より良い経営が可能になると感じる良い例会となりました。



地域の未来を考える

(記 濱本板金製作所 濱本 竜也)

《芸南地区会》

未来を切り開く力

行動力と決意

- 開催日 11月21日(木)
- 会場 商工会安浦支所
- 出席者 15名

11月地区例会は、経営体験報告ということで今年の5月に入会された昇進工業 代表の岡野雄太氏に報告して頂きました。

岡野氏は今年の2月に起業したばかりで、経営経験は少ないのですが、起業するまでの道のりを赤裸々に話してくださいました。

前職で培った溶接の仕事に対する気持ちと技術を生かし、自分の思う仕事のやり方を実現するためには独立するしかないと思い、奥様に独立したいのだという気持ちを伝えたそうですが、それを不安に思った奥様は、納得できる説明と行動を見せてほしいと言われたそうです。

それから起業するために飛び込み営業や、その道の経営者、税理士にも相談に行くなどして行動し、独立への道を切り開いていったそうです。

そうすることで得た繋がりや、学びが独立するための自信となって

いったという話を聞くことができ、創業者の行動力や、熱意を感じることもできたのは大きな学びになりました。

グループ討論では、創業時、事業承継時、仕事を始めたときの困難や苦勞した話、またそれをどう乗り越えたのかを共有できました。分からない事でも諦めずに誰かに相談したり、行動してみたりして、ちゃんと手足を動かしていればそれ相應の結果が得られるのだと気づかせられた例会でした。



学び&気づき多き例会でした

(記)有カ-ショップサカモト

重森 恵介

《広北地区会》

行動こそが最高の

成功法則

- 開催日 11月18日(月)
- 会場 オークアリーナ
- 出席者 20名

広北地区会の11月例会は、報告者は(株)さきしまの近成氏。「人を生かす経営」と題して報告していただきました。

近成氏は両親から「義務教育までは面倒を見るが高校に行きたかったら自分で学費を稼いで行きなさい」と言われるくらい自立を余儀なくされる人生経験をされていて、その時に言われた「勉強が出来なければ稼いだお金で頭のいい人を雇い自分に不足しているものを補え」が、今の人を生かす経営のベースになっているのではないかと考えさせられました。

父親の人材派遣会社に入社後、無敵時代と称して残業200時間をこなしまくりながら、稼ぐためには人の何倍も働くという事を実践。地力をつけていきました。

その後、代表取締役になります、バブル崩壊のあおりを受けて会社を解散。

その後、人材派遣の経験を活かし、別会社に入社、社内ベンチャーで今の(株)さきしまを起こします。

3年間休まず働けば軌道に乗るだろうという意気込みの元、業績を伸ばされ現在にいたります。

報告を聞いて感じたのは、とにかくパワフルで行動力があるという事。「行動こそが最高の成功法則」と言われますが、まさにそれを実践している方で、ただ行動するのではなく、戦略に基づいた行動力に、本人は当たり前のように言っておられました。簡単には出来ない事をされているなど感心させられました。

その行動力を社員にも指導し、材適所に人を配置することで、組織をうまく運営しているのだなと感じました。

改めて行動の大切さを学び、組織力のための基礎を学べた例会となりました。



(株)さきしま 近成一志氏

(記) (株)忠建 藤畝 大輔

《青年部会》

親父との約束叶えよう！

事業承継とビジョン

■開催日 11月20日(水)
 ■会場 呉森沢ホテル&Zoom
 ■出席者 73名

11月例会では、呉支部青年部ビジョン委員長である三工電気(株) 上川博之氏と親交の深い宮城同友会青年部より、三和工業(株) 代表取締役社長 佐藤隆二氏をお招きし、「親父との約束叶えよう！事業承継とビジョン」と題してご報告いただきました。

佐藤氏は、義父の会社において「一人でできることには限界がある」と感じ、「経営指針書」に組織経営のヒントを見出して同友会に入会されました。自主・民主・連帯の精神を学ぶ中で、「社長が変わらなければ社員も変わらない」という考えのもと、社内で実践を重ねるにつれ、学びの奥深さを痛感されたと語られました。

社員との関係構築の苦悩や事業承継を経て、自分なりの労使との向き合い方を模索し、ビジョンや理念で語りかける重要性を考えて実践してきた佐藤氏。その行動力と実践力には、感銘を受けました。

グループ討論では、「あなたは明日から何を実践しますか？」をテーマに議論が行われました。この討論を通じて、自社の課題や自分自身の行動を見直し、明日から何を実践するかを深く考えさせられる充実した例会となりました。



全員で記念写真

(記) デントリペア セノ

瀬野 良平

《昭和地区会く近況報告》

「きらきら終活フェア」

体験記

暦の上では霜月ですが、素晴らしい秋晴れの11月9日に広西地区会の(株)ワンス様が主催された「きらきら終活フェア」を見学させていただきました。仕事で一緒にさせていただく機会もあり、平日頃からお会いする度に終活の大切さを熱く使命感を持って語られている木村社長の想いが表現された活気のある会場でした。

運良く「日本」に生まれ平和で便利でモノの溢れた生活を送れる環境に居ても、死ぬ事は避けられない中、仕事や情報を通じて、逆に気楽に死ねない時代になっているのかと感じていました。核家族化が更に先鋭化して高齢者になった頃には身内がいらない、個人主義を貫いたらコミュニケーション自体を失っていた、趣味を持つことが充実した生活と意識に植え込まれ、気が付いたら家がモノだらけ…とまで極端なケースに成らずともみんな何かしら「死んだら手間かけるかな？」って点があるのではないのでしょうか。

企業の事業承継が昨今問題になっていきますが個人も同じで自分や家族に負担(経済的・体力的・精神的)にならぬようにこのような催しに参加して解決したり、自身に当てはめて問題点を発見して見る良い機会になりました。

玉石混交の企業やサービスが各種情報媒体で垂れ流されている中、会場にて対面を重視しつつ信頼を積み上げていく木村社長の方針に「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」野村克也氏の言葉を思い出し、自社の広報活動の参考にさせていただこうと大変勉強になりました。



会場での確認に余念のない木村社長

(記) ヨゼロワン 川口 厚

《地域共生委員会》

県の支援制度で進める 障害者雇用の第一歩

■開催日 11月1日(金)
■会場 同友会呉事務局
■出席者 19名(うち外部3名)

「障害者雇用を行う企業への支援制度(助成金制度)について」と題して障害者雇用勉強会が開催されました。

講師は、広島県労働局 職業安定部 職業対策課 雇用開発係長 寺本真氏に越し頂きました。

障害者を雇用することで、多様なスキルや視点を持つ人材を確保できます。また、障害者雇用は、企業の社会的責任(CSR)を果たす一環として評価され、企業イメージや信頼性が向上し、取引先や顧客からの評価も高まります。さらに、障害者を雇用する企業には、さまざまな助成金や支援制度が提供されています。

広島県は障害者雇用の促進について、積極的に取り組んでおり、様々な支援制度が準備されています。

今回は「特定求職者雇用開発助成金(特定就職困難者コース)」「特定求職者雇用開発助成金(発達障害

者・難治性疾患患者雇用開発コース)」「トライアル雇用助成金(障害者トライアルコース)」「障害者短時間トライアルコース)」「キャリアアップ助成金(障害者正社員化コース)」の四つの制度についてご説明頂きました。

質問も活発に出され、中小企業の採用活動の一助になりました。

採用をお考えの方は、広島労働局を訪ねてみてはいかがでしょうか。

【広島労働局 職業安定部】
広島市八丁堀5-7
電話082・502・7832



勉強会の様子

(記 同友会事務局 木下)

《求人・社員教育・

地域共生委員会合同》

恒例！関係各位との

合同忘年会

■開催日 11月22日(金)
■会場 五月荘
■出席者 37名(うち同友会17名)

毎年恒例の「内外関係者との合同忘年会」が開催されました。

外部からは、海上自衛隊 呉地方総監部、呉工業高等学校、呉工業高等専門学校、広島国際大学、広島工業高等学校、(公財)くれ産業振興センター、呉市産業部商工振興課、呉市福祉保健部障害福祉課、呉港高等学校より18名の皆さんでした。

中里支部長の開会挨拶の後、呉市産業部 奥村和広部長の乾杯で、忘年会が始まりました。

参加者の皆さんは、積極的にお互いに情報交換をされていたのが印象的でした。

歓談の途中で、お一人ずつ今年の振り返りをお話いただきました。

皆さん共通して「呉、そして地域を元気にしたい」と話されていました。また、「子供たちが呉で育って良かった」と思える地域づくりや「呉で頑張る子供を育てる」など呉の将来を担う子供たちの話が中心だっ

たように思います。

呉支部では、1990年より求人委員会がスタート。以降、高等学校との関係づくりを大切にしてきました。

徐々に地域の関係者も巻き込み、活動を上げてきました。

来年以降も「高校生と保護者の為の企業ガイダンス」「高校の先生方との懇談会」「高校の先生方の企業訪問」を継続していきます。

まだ参加されたことがない皆さんも、ぜひ、ご検討ください。



呉市産業部長 奥村和広氏による乾杯音頭

(記 事務局 木下)

《文化厚生委員会》

広島エアポート

ホテルBBQ

■開催日 11月17日(日)
 ■会場 広島エアポートホテル
 ■出席者 18名

文化厚生委員会主催 広島エアポートホテルBBQを開催いたしました。

「となり町を知ってもらおう」と企画し今回で4回目の開催です。呉から送迎バスに乗って『非日常を楽しむ!』今年は呉ルートと安浦ルートを準備しました。

朝晩の冷え込みで空港回へ向かう道路脇に植えられている木々が綺麗に紅葉しており美しく、日常から少し離れて小旅行気分になりました。

雨でも楽しめるテント型ガーデンテラスでのBBQは、これまでとはまったく違う雰囲気の中でのBBQ。素晴らしいロケーションと、本格的なBBQが完全手ぶらで楽しめるのも魅力の一つです。この魅力を一人でも多くの方に知ってもらいたいと思います。

BBQは和気あいあいとした雰

囲気で2時間はあっという間でした。ご参加いただきました皆さま、本当にありがとうございます。今後の目標は、広島空港は広島空港の玄関口ということもあり、他支部、他県の多くの会員の方々を巻き込んで空港の魅力とBBQを楽しんでいただき、皆様の交流の場となればと思っております。



どんな雨でも大丈夫!

(記

(同) クラウドイーフィールド

雲田 光直)

書籍「企業変革支援プログラム ver2」のご案内

1. 企業変革支援プログラムとは何か
2. 企業変革支援プログラムの活用
3. 自己分析シート

改訂の主な特徴は以下の4点です。

- ① 経営指針の実践支援を明確化、
- ② ステップ1とステップ2を統合、
- ③ 計画立案に役立つ具体例を列挙、
- ④ 「企業の社会的責任」の新カテゴリーの追加。



A4判 82ページ。価格 2,000円(税込)。事務局で販売中

今年も11~12月は企業変革支援プログラム登録月間です。2022年10月に発行された『企業変革支援プログラム Ver.2』は、従来の会社の健康診断『STEP1』と処方箋『STEP2』が合体し、スリムになっています。

内容も時代変化にあわせ、大きな項目がひとつ増えました。使い方は変わりなく、質問に回答して、自社の状況を知り、これから取り組みたい課題をみつけて、個別項目の部分を参考にしながら、方針化・計画化して具体的な取り組みに落とし込んで実践するだけです。経営労働委員会からのご提案! 「今年は簡易登録してみようや!」

10月度新会員紹介

《呉南地区会》

株式会社UPPLAUSE

プロース

代表取締役 沖野 芳恵氏

■会社所在地 呉市三条1-11-1

■社員数 3名

■設立 2014年

■事業内容を教えてください



当社では主に、配電盤用のアクリル銘板を製作しています。お取引先は製造業のお客様が多く、同友会内にもお客様がいらつしやいます。他にもシール素材の銘板や、金属・木材への加工も承っています。一般のお客様向けとして、キャデイバッグに付けるネームプレートなども作成しています。元々は広西地区会所属の(株)KEMのいち部門でした。新たな挑戦をしたいと、2022年に事業を譲り受ける形で代表取締役に就任しました。

■PRをどうぞ

当社製品の製造過程で発生する廃棄プレートをもっと活用できないか考えています。スイッチ周りのプレートを

際、どうしてもスイッチ部分には不要なので廃棄となります。勿体ないなあと、大きいものは、ゴルフのネームプレートにしました。小さいものは、マーカーにしたらどうかと考えています。

皆様が主催するゴルフコンペや、ちよつとしたグッズとしてオリジナルマーカーなどを作ってみませんか？その他のご活用も含め、ぜひお声がけ下さい。



■同い年・同地区会の西田さん談

オプザバーの時から一緒にしての印象はとにかく、几帳面。連絡事項のメールの返事は迅速、的確です。苦手とは言われてますが、グループ討論でも、自分の意見をしっかりと伝えていらつしやいます。皆様ぜひ沖野さんをよろしくお願います。(記 広報委員長 白井健人)

広報委員会からのお願い

Googleフォームにてアンケート募集中



呉通信の誌面向上の為、アンケートを実施しています！

皆様の「なるほど！」が沢山集まるような誌面作りを目指してまいりますので、企画の評価やご要望等、ご遠慮なくお寄せ頂きます様、お願い申し上げます。

昔のあの企画を復活させて欲しい！！

最近入った新会員さん、どんな事されてる人なんだろう？

あの委員会、どんな活動してるんだろう。詳しく知りたいなあ。

SNSを上手に活用してる会員さんの特集とか

